

『平成30年度 街なか再生助成金』 助成事業の発表

■選考経過

本助成金につきましては、2月1日から3月31日までの2ヶ月にわたり募集を行ったところ、全国より10件のご応募をいただきました。

応募頂いた全ての事業を確認し、選考委員会による厳正なる審査を行った結果、以下の4事業に対して助成を行うことに決定致しました。

■平成30年度 助成事業一覧

事業名	団体名	市町村
都市計画道路事業等による沿道商業施設用地の再整備事業	枚方家具団地協同組合	大阪府 枚方市
由利本荘市石脇通り3町内の歴史的建造物の空き家・空き店舗の Re 活用	特定非営利活動法人 由利本荘にかほ市民が健康を守る会	秋田県 由利本荘市
刈谷市駅前の再開発モデルプランづくり	名鉄刈谷市駅前地区 市街地再開発準備組合	愛知県 刈谷市
街なかカレッジで空洞化を減らし移住者を増やすプロジェクト	リアルマック	鳥取県 倉吉市

■助成対象事業の概要と推薦理由

都道府県	大阪府	市区町村	枚方市
団体名	枚方家具団地協同組合		
事業名称	都市計画道路事業等による沿道商業施設用地の再整備事業		
事業概要: <p>枚方市長尾家具町は、地区内を縦貫して新設される都市計画道路と高速道路(新名神)の事業化により、沿道商業施設の形成や機能更新等が期待される一方、用地買収を受け、既存敷地の分断や変形、狭隘敷地の残置等といった、既存商店街の存続を揺るがす事態が予想される。このため、地権者を中心として、敷地整序型土地区画整理事業を念頭にまちづくりを検討する組織(まちづくり協議会準備会)を立ち上げ、アンケートによる意向把握や勉強会を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地権者アンケートの実施…<u>助成金対象事業</u> ② 勉強会の開催(全4回)…<u>助成金対象事業</u> ③ 沿道模型の作成…<u>助成金対象事業</u> 			
選考理由: <p>地権者が主体となって行う「土地区画整理事業等の面的整備事業の立ち上げに向けた取り組み」に関する事業であり、且つ事業の目標や成果物が具体化・明確化されており、街なか再生助成制度の趣旨に合致している。</p>			

都道府県	秋田県	市区町村	由利本荘市
団体名	特定非営利活動法人 由利本荘にかほ市民が健康を守る会		
事業名称	由利本荘市石脇通り3町内の歴史的建造物の空き家・空き店舗の Re 活用		
事業概要: <p>由利本荘市石脇通りでは、昨年度から秋田県立大学の学生が町内の空き家でルームシェアを開始。一方、石脇通りに訪問看護ステーションが開設された。これを受け、石脇通り3町内の空き家・空き店舗に高齢者と大学生がルームシェアを行い、そこに訪問看護ステーションから訪問する事業を展開する。高齢者側は雪かき等在宅阻害要因が軽減されて住み慣れた場所で過ごすことができ、学生側は家賃軽減等が期待されるとともに、さらなる空き家・空き店舗の利活用につながる事が想定される。今年度はアンケートを実施し、空き家等の把握や利活用意向把握、高齢者居住状況の把握を行い、連絡会議を開催し事業計画を作成。地権者と学生間でルームシェア開始を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地権者アンケートの実施と空き家等の把握 ② 連絡会議の開催 ③ 空き家(空き部屋)の改修…<u>助成金対象事業</u> 			
選考理由: <p>健康・医療・介護を扱う特定非営利活動法人が行う「地区内の既存ストックを活かした街なか再生への取り組み」であり、且つ、高齢者と大学生がルームシェアするというアイデアは注目に値する。また、事業の目標や実現に向けた方策が具体化・明確化されており、街なか再生助成制度の趣旨に合致している。</p>			

都道府県	愛知県	市区町村	刈谷市
団体名	名鉄刈谷市駅前地区市街地再開発準備組合		
事業名称	刈谷市駅前の再開発モデルプランづくり		

事業概要:

刈谷市駅前では、商店街振興組合のメンバーが中心となって、ここ 2 年間まちづくりや再開発の勉強会を行い、まちづくりの機運を高めてきた。4 月 24 日には再開発準備組合の設立総会を行い、準備組合が発足したところである。今年度は刈谷市が地区の整備方針を定めることから、市の方針と連携して、まちの将来像や再開発モデルプランの検討を行う検討会を開催する。

- ① まちの将来像の検討、再開発モデルプランの検討…助成金対象事業
- ② 検討会の開催(全 3 回を予定)…助成金対象事業

選考理由:

地権者が主体となって行う「土地区画整理事業等の面的整備事業の立ち上げに向けた取り組み」に関する事業であり、且つ事業の目標や成果物が具体化・明確化されており、街なか再生助成制度の趣旨に合致している。

都道府県	鳥取県	市区町村	倉吉市
団体名	リアルマック		
事業名称	街なかカレッジで空洞化を減らし移住者を増やすプロジェクト		

事業概要:

倉吉市の白壁土蔵群赤瓦は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、年間 65 万人の観光客が訪れる観光地であるが、高齢化や 2016 年 10 月 21 日の鳥取県中部地震(倉吉市は震度 6 弱)の影響もあり、空き家・空き店舗が増加している。2014 年に開校した市民大学(IJU[いじゅう]大学)の拠点伝建地区に移転させ、学びと出会いの場とするとともに、定住促進、起業支援・マッチングを行っていく。

- ① IJU 大学とリアルマックの基地局の移転整備…助成金対象事業
- ② 仕事創出のためのマッチング及び起業塾の開催
- ③ くらよしカーゴマルシェ(買い物支援とコミュニティ創出)
- ④ 鳥取県、倉吉市、その他 NPO 等と連携した取り組み

選考理由:

地域に根差した活動と移住者支援をしている団体が行う「地区内の既存ストックを活かした街なか再生への取り組み」に関する事業であり、事業の目標、成果物が具体化・明確化されており、街なか再生助成制度の趣旨に合致している。